

久保山俳句会

2025年7月

①スーと伸び薄紫（うすし）「アオイ」
の 夏帽子

②梅雨明けや 音なき空の ただ青し
③葦（あし）撓（たわ）み 雄（ご）ころ吐く
ぎょうぎょうし

④遠雷の じわじわじわと 近づきぬ

⑤梅雨あけて暑ますますせみの声

⑥生年（なりどし）や シートに落とし

杏子ジヤム

⑦子規（ほととぎす） 群れに帰れば
老いが立つ

⑧漁終えてかがり火を背に鶴しずまる
⑨大夕立 雨より先に 音襲ふ

⑩古蚊帳（ふるかや）を 味ある鳥賊に

アツプリ刺

⑪入道雲 むくむくわきて 空を押す
⑫ゴルフ帽 首に氷嚢（ひょうのう）

風の道

⑬緑陰や しばし休むかベビィーカー
⑭雨露（うる）被（かぶ）る柘榴（ざくろ）

皮裂き 果肉零（こぼ）す

⑯蝉殻の 庭球ネットに しがみつき